

男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
-美浦村女性行政推進協議会-

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

幼稚園・保育所

DVD研修
中山 万律子

昨年度より実施している保育所での人権を学ぶためのDVD研修。昨年度は木原保育所のみで実施しましたが、今年度は12月17日に美浦幼稚園、1月10日に大谷保育所、1月17日に木原保育所の三箇所で開催しました。使用したDVDは昨年度と同様、「やさしいオオカミ」というお話です。

やさしいオオカミ

友達がほしいけど、臆病で弱虫のオオカミは牙のないオオカミ「キバナシ」と呼ばれ動物たちからバカにされていま

した。うさぎにはパンチされたりきつねには裏切られたり森の動物たちはオオカミという理由で友達になつてくれません。しかし、ある時、夕方に襲われたうさぎの女の子を助けることでキバナシの強さとやさしさに気が付いたうさぎが友達になりました。その後キバナシはどんどん友達が増え、森の人気者になりました。



お話を見た後に園児のみんなとお話を振り返り、動物たちの気持ちを考えました。子どもたちはみんな素直に「かわいそうだったな」「うれしかったな」と、思った意見を出してくれました。

また、『強いこと』とはどういうことだろうとみんな考えてました。「力が強いことかな」「やさしい気持ちを持つことかな」と様々な意見が出ました。そして、「やさしい気持ちを持つとキバナシのようにお友達と仲良くできるね。」と、みんなと共感しました。



今年で、実施をはじめて二年目を迎え、複数の施設で研修を実施して感じたことは、同じお話を見ても感じ方やお話の捉え方はみんなそれぞれ違うということ。子どもたちは素直に率直な意見を話してくれるのにもかわらず、出てくる意見は毎回違います。自分と違う意見も尊重し、「自分とはこう思っているけど、相手はこんな風に思っていたんだな」「自分の意見だけが正解ではないんだな」という気持ちでお友達の意見を聞くことの大切さが伝わるといいなと感じました。

年長さんにとつては残り少ない幼稚園・保育所生活。キバナシのようにやさしい気持ちを持ってみんな仲良く過ごしてほしいです。そして、小学校でも新しいお友達がたくさんできるといいですね。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「春・雨」二字以上詠み込み

梅を一輪手紙に添えて里の母から春便り

祈願合格たのまれ絵馬もやと重荷の解けた春

舗装割れ目に根を張る草も雨の情で春を知る

雨の恵みに潤う田畑春はそこ迄待つ蛙

コロナウイルス春節襲い人の心も破壊する

背に春の陽いつばい受けて時刻忘れて雑草を引く

梅が先駆け芽吹いて咲いて春への希望の背をのばす

雨の被害に田畑も流れ春を待つかの草みどり

皮はパリパリ中の具とろり上手い春巻妻の味

耐えて来たのか早咲き椿春の日差しが嬉しそう

福を呼び込む御近所さんの声も聞こえる春の宵

並ぶ春物優しい色に寒さ忘れるモール街

春の兆しを感じて咲いた香るろう梅別世界

冬をとび越しタンポポ梅が咲いてウグイス春告げる

春は来たけど未だ未だ寒く雨が降る度あつくなる

自然支える命の連鎖蝶の減少愁う春

春の陽さしの学びの陸平に響くピアノ音ハーモニ

雨の正月痛みが腰にあなた恋しくねむれない

傘をくるくる雨粒弾きそつとつぼめる下駄の女

二月の俳句 (題 当季雑詠)

梅蕾日毎に紅を深めけり

ゆずのまり膝によりくるもらひ風呂

ふきのとう摘みいる君の手の白き

豆まきや声を潜めて鬼は外

豆まきをチョコット真似する老夫婦

足留める瑠璃色一面犬ふぐり

初孫の高き産声春立つ日

若菜摘む義母の味噌汁具沢山

冴ゆる夜や我が心音をたしかむる

アフガンに散りて世に継ぐ命春

懐かしい亡母の手作りよもぎ餅

節分や数へる豆は両の手に
何ゆいにウグイス餅のあのいくば
緩やかな霞浦の流れや菜の花忌

篠原美千代

塚本夏雲

飯塚筑風

酒川夢花

沼寄朋香

山岡亜子

門脇悠美

関根秀子

伊藤葉子

小蘭江久美

高橋一步

石戸律華

木村幸子

小池きよし

井戸賀蘇道

田島草実

増尾青蓮

山崎泰弘

上野八千代

(五十音順)

青野安佐子

石毛恵美子

市川紀行

海道民子

木澤はしめ

高柳幸子

田島早苗

中島輝子

長田敏笑

増尾尚子

松葉蝶駿
松葉よしの
松本秀子
宮崎さみ枝